

## 第5回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会議事録概要

日 時：2021年（令和3年）1月27日（水）13：00～13：55

場 所：公済会館 大ホール

出席者：会議資料5 会場席図参照

Web出席者：袴田顧問、基本構想・基本計画策定委託業者

欠席者：白濱委員、菊池委員、甲田委員、西田委員

### 1. 開会

第5回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会の開催宣言

### 2. 前回議事録の確認

前回議事録概要は承認され、むつ総合病院のホームページへ掲載を予定

### 3. むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画（案）の修正箇所について

#### （1）「修正箇所3箇所」に対する説明

資料2を用いて、修正箇所3か所の説明を実施

29頁：今回の基本構想・基本計画の範囲を明確にするために、特記事項を追加

30頁：「建設予定地比較検討表」に、コスト面の比較も追加

80頁：整備手法は、発注方式比較検討表（6項目）で最も高い評価となった「設計・施工分離発注方式」と明記

#### （2）「修正箇所3箇所」に対する質疑・意見

- 「建設予定地比較検討表」のコスト欄には、敷地取得費用などが記載されている。表現としては、「敷地取得費用」とした方がよいのではないか。

回答⇒表現方法を検討する。

- むつ市や下北圏域において、「設計・施工分離発注方式」で発注された実績はあるか。

回答⇒「設計・施工分離発注方式」が主な発注方式であり、「DB方式」などの発注方式を採用している例はほとんどない。

「発注方式比較検討表」の発注実績は、弊社物件の集計データであるが、一番多いのは、「設計・施工分離発注方式」である。非常に安心できる発注方式と考えている。

### 4. 議事

#### （1）パブリックコメント等の結果について

資料3を用いて説明を実施

パブリックコメントの募集の期間中（2020年（令和2年）12月9日から28日まで）に、

2件の意見提出があった。

1件目は、概算事業費の規模が大きすぎる。100億円以下の規模で、再考を願うとの意見  
これについては、今後、事業費や財源返済資金計画の精査を行っていく予定と回答する。

2件目は、新しく病棟が生まれ変わること賛成という激励の意見である。

## （2）パブリックコメント等に対する質疑・意見

- 意見を求める期間と住民への周知の方法は、妥当だったのか。

回答⇒住民への周知の方法としては、下北郡内の全て市町村の広報誌に掲載させていただくとともに、むつ病院のホームページで周知を図っている。

⇒青森県の基準では、募集期間は原則1ヶ月、広報紙とかホームページなど、できるだけ丁寧に募集することになっている。実態としては、募集期間が2～3週間と短い場合もある。今回のパブリックコメントの募集は、意見を求める期間も住民への周知の方法も十分に適切であったと思われる。

## （3）答申案について

資料4を用いて説明を実施

むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会は、新病棟を建設するための「基本構想・基本計画」を策定することが目的で組織されている。

答申案としては、「むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画取りまとめ案」に加え、むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会における委員からの意見を4点の付帯意見としてまとめている。

1点目は、「患者目線から見た療養環境の整備」として、患者が快適に過ごせる施設の整備と既存外来棟から新病棟までの無駄のない動線計画などの検討を求める。

2点目は、「医療人材の確保と働きやすい環境の整備」として、医療人材の確保や働きやすい施設整備などの検討を求める。

3点目は、「建物配置等に掛かる留意事項」として、救急車のアプローチ方法などの検討を求める。

4点目は、「金谷公園との一体的な機能の整備」として、金谷公園を中心とした一体的な利用方法についての検討を求める。

「むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画取りまとめ案」とともに、付帯意見を尊重しつつ、新病棟建設事業を着実に進めていただくよう要望し、答申とする。

## （4）答申案に対する意見

- むつ下北圏域の住民の方々へ、広くわかりやすい周知を行っていただきたい。

- 設計においては、昼間の病院はイメージしやすいが、夜間の病院はイメージしにくい面がある。  
病院のスタッフの意見を聴いて、夜間の利用者やスタッフなどの業務動線を考慮した設計をする

ことが必要である。

- 設計においては、凍結や雪の吹き溜まりができやすい場所、氷柱など、寒い冬場への対応方法を考慮した設計をすることが必要である。
- 病院建設だけでなく、金谷公園との一体的な配置がテーマに上がっている。冬季に金谷公園へ遊びに来た方々の事故防止など、細かい配慮をする必要がある。

#### （5）答申案における承認

特に異議はないようなので、2月に一部事務組合下北医療センターの管理者の方へ答申する。

#### 5. むつ総合病院新病棟建設事業に関して、委員、顧問の皆様からの意見や期待等について

- 意見形成のプロセスとしては、適切であると捉えている。パブリックコメントでも財務に関する不安と激励の意見も出ている。これから様々な微調整し、前に進めて頂きたい。
- この地域の医療の将来を決めると言う大きなプロジェクトである。基本構想・基本計画としては、患者やその家族、医療スタッフの方々にも配慮した計画となっていて、非常に良いと思っている。今後、具体的な設計が始まるが、橋爪委員長を含めて、病院の現場の先生方の意見も反映された設計になれば良いと思っている。今後の病院に期待していきたい。
- 5年後、この病院ができることで、下北地域の地域医療がより発展充実していくことを期待する。
- 手術支援ロボットの導入は、むつ総合病院の一つの目玉になると思われる。外来、検査、診察等がスムーズに進んで、手術支援ロボットが利用できることが望ましい。今後、新病棟、外来棟等が出来れば非常に良いと考えている。また分科会等あれば参加させていただきたい。
- 建設場所、維持管理費用や居住空間など色々な意見が出尽くした集大成として、設計に入るわけであるが、むつ下北半島の中心になるような機能的な病院になってくれることを祈っている。
- 今後の人口減少を考えておく必要がある。建物は、一定の金額のランニングコストがかかることになる。30年、40年と長い計画であり、例えば病床が必要なくなった時に、ある一定の場所を閉鎖して、ランニングコストを抑えるようなことも考えておくことが必要である。どの様な形で維持管理し、その時代の人達に負担が掛からないようにすることも考えた設計が必要である。
- 土地柄、医療財源、医療資源、人材不足は、今まで言われてきている。新病棟に加えて、今後は外来棟も増えていく、患者だけでなく、医療人材も集まってくるようになれば良いと思っている。また、パブリックコメントにもあったように、財源に関しては、厳しく見ている人もいる。建設の期間と事業費をしっかりと守って建設していければ良いと思っている。
- 新病棟の建設は、むつ下北圏域の住民が待ちに待った建設と思われる。これまでご意見と協議の結果を反映させて、早期の充実した病院の建設ができるように期待する。
- 「医療環境の変化を見据えた機能の向上」というコンセプトがいちばん大きいものである。新型コロナウイルス蔓延のように、医療環境の変化は、なかなかこれは先を見通せないものである。新病棟でなされる医療が、今後、想定できないものも含めた医療環境の変化に対応できることを期待している。5年後には、むつ下北地域の住民が、安心していただけるような質の高い、医療を提供できる新病棟であっていただきたい。
- 今回は、主に建設に関するハード面での検討であるが、次の段階、医師を含む医療従事者の方々

の使いやすさなどを再検討して、変えていければ良いと感じている。

- 最小限の費用で、最大で効率的な施設設備を期待したい。
- 佐井村では12月議会でもこの事について説明している。今後、医療センター議会等での丁寧な議論を期待する。
- 付帯意見に、「医療人材の確保についても検討されたい」とある。コロナの時期で、無理であるが、子供のうちからの病院体験（職業体験）なども良いかも知れない。
- むつ総合病院の新病棟建設は、住民にとっての大事業であり、非常にワクワクしている。下北郡の住民として、この中枢の基幹病院に期待している。
- 下北地域全員のことであり、私的には、地域住民が寄付をすることも考えられる。（（河岸委員）
- 基本コンセプトなど、何か先が明るく見えている感じがする。この計画が早く実行でき、自身もその利用できる機会が早く来れば良いと思っている。
- 外来棟から新病棟まで無駄のない計画を検討していただきたい。むつ下北地域の住民が安心して利用できる病棟となりますように期待しております。
- 地域住民の方々にとっても、またむつ総合病院や地域の医療に携わる全ての方々にとって、将来にわたり希望に満ち溢れるような病院になることを切に願っている。
- むつ総合病院に対する地域の方々からの期待の大きさを改めて実感している。これから先、色々と厳しい財政事情の中ではあるが、整備がスケジュール通りに進むように県としてもしっかりと注目していきたい。地域に必要で良質な医療を提供し続けられるように、今後も注視させていただき、アドバイス等、県で出来ることはしっかりと対応させて頂きたい。
- 今回の答申書に示された通り、患者・スタッフ・地域の皆様にとって、三方良しの施設になれることが大切であると思っている。この計画は、最低限の条件が定められたものである。今後、設計を進める方が、これをさらに工夫して、より良い施設として頂けることを願っている。

## 6. その他

### (1) 委員長挨拶

新型コロナウイルス感染症という災害の中、一部はオンラインによる開催となり、非常に難しく、大変だったと思われませんが、のべ5回に渡りまして、弘前大学、青森県、むつ下北の医療関係者、各団体、市町村、住民代表の方々、計24名もの方にご参加頂きました。

この場を借りて御礼申し上げます。

皆様のおかげで、新病棟建設に向けての基本構想・基本計画が定まりました。

来年度からは、いよいよ基本設計、そして実施設計と進みます。

奇しくも、この委員会に合わせるように、新型コロナウイルス感染症という世界的な規模の災害、パンデミックが起こってしまいました。

これは社会を本当に大きく変えてしまうものでございます。

このような、突然起こる変化に対しても、むつ総合病院は住民を守るために、その機能を果たして行かなければいけないという中での新病棟の建設であり、改めて私ども、心を非常に強く持つ

## 第5回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会（2021年1月27日）

て、一から始めなければいけないという気持ちであります。

病院職員一同、更には皆さま方のご協力も得ながら、新病棟を住民のためのもの、使いやすいもの、そしてむつ下北医療圏の地域医療の柱にしていきたいと思っております。

現在、新病棟の建設に向けて、それぞれの関係各所と一丸となって、取り組み始めております。

今後とも引き続き、ご指導ご支援を賜りますよう、お願いいたします。

皆様、誠にありがとうございました。

### （2）事務連絡

「一部事務組合下北医療センター むつ総合病院建設基本構想・基本計画」については、準備が出来次第、病院のホームページへの掲載と、委員・顧問へ郵送にてお送りさせていただきます。

併せて、第5回策定委員会の議事録もお送りさせていただきますので、確認のほど、宜しく願い致します。

## 7. 閉会

第5回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会の閉会宣言

以上